

平成30年度「長久手市役所の仕事」通知表”の作成
 ～長久手市行政評価・外部評価～①（平成30年7月30日）開催概要

開催概要	
会議等の名称	平成30年度行政評価・外部評価① 「障がい者福祉事業」【福祉課】
開催日時	平成30年7月30日（月） 午前9時35分から午前10時35分まで
開催場所	市役所西庁舎2階 第7・8会議室
出席者氏名 （敬称略）	<外部評価実施者> ・行政改革推進委員 山本理絵、樋口和則、島田智子 ・外部評価委員 服部麻衣子、山田佳奈 <担当課> 福祉部次長 中野智夫、福祉課長 若杉雅弥、同課係長 山田菜美 <事務局> 総務部長 青山 均、行政課長 飯島 淳、同課課長補佐 児玉剛、同課主任 加藤優作
傍聴者人数	2人
問合せ先	長久手市総務部行政課 0561-56-0605
備 考	

外部評価実施者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所内での軽易な業務体験について、全庁的に取り組むことはよい。 ・一般の企業での就労の機会が増えるように行政がもっと間に入ることを考えていく必要がある。 ・「心身障がい者」と「障がい者」の表記について、同一の意味としているのであれば、表記は統一した方がよい。 ・社会見学事業を通じて障がいのある人が少しでも社会参加に近づくことはよいことである。 ・社会見学事業の対象団体が限られることから、個別に働きかけて制度周知等を行うことも考えてほしい。 ・障がい援護事業（B票）のウイークポイントとして、「（障がい者）手当額が毎年増加している。」とあるが、ウイークポイントではない。 ・福祉有償運送について、利用希望者と認定ドライバーとのマッチ
-------------	---

	<p>ングが重要である。目標にも影響してくる。</p> <ul style="list-style-type: none">・障がい者計画策定・評価事業（B票）では、評価がよいため、今後の方向性が「縮小」となっており疑問である。評価がやや甘い（高い）。・特別障害者手当等給付金は、金額が大きいため、B票の事業費の主な内訳に記載することが妥当である。・成果指標の「ながふく就労体験時間数」の目標設定について、設定及び目標値の再考が必要である。
--	--

講評・まとめ	<ul style="list-style-type: none">・それぞれの事務事業の潜在的ニーズがあると思うので、それに対して、周知を徹底し、有効に利用されるように検討すること。
--------	--